

資料4

Ⅱ③ 経営健全化計画の実施状況報告の概要について

○経営健全化計画の実施状況の報告を行った団体

事業区分	都道府県名	市区町村	会計名	概要掲載 ページ
交通事業	愛知県	名古屋市	自動車運送事業会計	1
	京都府	京都市	京都市高速鉄道事業特別会計	3
	佐賀県	佐賀市	自動車運送事業会計	4
	熊本県	熊本市	交通事業会計	5
病院事業	北海道	美唄市	病院事業会計	7
		深川市	病院事業会計	9
		由仁町	病院事業会計	11
	兵庫県	三木市	病院事業会計	12
市場事業	大阪府	大阪市	中央卸売市場事業会計	14
と畜場事業	徳島県	徳島市	徳島市立食肉センター事業特別会計	17
宅地造成事業	青森県	青森県新産業都市建設事業団	桔梗野工業用地造成事業会計	19
			百石住宅用地造成事業会計	21
	鳥取県	米子市	流通業務団地整備事業特別会計	23
	山口県	下関市	臨海土地造成事業特別会計	24
観光施設事業	青森県	弘前市	岩木観光施設事業特別会計	26
		黒石市	温泉供給事業特別会計	28
	奈良県	宇陀市	保養センター事業特別会計	29
	山口県	美祢市	観光事業特別会計	31
	高知県	高知市	国民宿舎運営事業特別会計	33
その他事業	北海道	釧路市	釧路市設魚揚場事業会計	35

愛知県名古屋市 自動車運送事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・資金不足額：平成24年度の実績額40億円。計画額73億円より33億円の改善。
〔33億円の内訳〕
平成23年度までに28億円の改善
平成24年度に5億円の改善
 - ・収入増加方策の効果額が計画を3億円下回った。
 - ・支出抑制方策の効果額が計画を12億円上回った。
 - ・一般会計補助金を計画より2億円縮減した。
 - ・他会計からの出資が計画を2億円下回った。
- ・資金不足比率：平成24年度の実績値20.8%。計画値37.7%より16.9ポイントの改善。
- ・収入増加方策
ICカード「mana」[※]と全国の交通系ICカードとの相互利用サービス開始により利便性の向上を図るとともに、市営交通90周年記念事業の展開など積極的な乗客誘致に努めたものの、効果額は計画を3億円下回った。
- ・支出抑制方策
給与カットの継続、生涯賃金で約20%の減となる給料表のすべての現業職員への適用、管理の委託の拡大など人件費の抜本的な効率化や、燃料費など経費の節減等の効果額は、計画を12億円上回った。
- ・自動車運送事業の経営基盤安定化方策
バス事業運営費負担金の充実を計画どおり行った。
- ・自動車運送事業会計への他会計からの出資
高速鉄道事業会計からの出資は計画どおり行ったが、一般会計からの出資は計画を2億円下回った。

2 資金不足額解消の状況

(単位：億円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
当初計画	A		△9	28	9	4
解消実績額	B		5	40	11	9
現在計画	C		—	—	—	9
B-A又はC-A			14	12	2	5
資金不足額		105	100	60	49	40

区分 \ 年度	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)	平成27年度 (第7年度)	平成28年度 (第8年度)
当初計画 A	5	2	11	16
解消実績額 B	—	—	—	—
現在計画 C	5	2	11	16
B-A又はC-A	0	0	0	0
資金不足額	35	33	22	6

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率 \ 年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)		平成24年度 (第4年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	55.3	61.0	53.6	44.9	31.7	39.6	26.1	37.7	20.8

資金不足比率 \ 年度	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)	平成27年度 (第7年度)	平成28年度 (第8年度)
	計画値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	35.1	34.1	28.0	19.9

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ お客様サービスの向上
ノンステップバスの購入や照明付標識・上屋・ベンチの整備、施設の耐震対策など、安心・安全で快適なサービスの提供に努めた。
- ・ 活力ある職場づくり
「人財育成プログラム」の本格実施、職員提案制度や局長ホットラインなどにより、職員がいきいきと働くための職場づくりに努めた。
- ・ 計画の進行管理
外部有識者の意見をふまえ進行管理を行うため設置した名古屋市交通事業経営健全化委員会を、5月及び11月に開催した。

京都府京都市 京都市高速鉄道事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・収入増加策については、副市長を本部長とする「京都市地下鉄 5 万人増客推進本部」の下での全庁を挙げた増客の取組の推進、京都市公営交通 100 周年を記念した様々な増客事業の展開、「Kotochika (コトチカ) 京都」のオープンをはじめとした駅ナカビジネスの拡大などを計画どおり実施。
- ・コスト削減策については、駅職員業務の一部民間委託化の拡大等による総人件費の削減、地下鉄設備の更新期間の延長、経常経費の削減などを計画どおり実施。
- ・一般会計支援等の拡充については、地下鉄京都駅賑わい創出事業への出資を行うとともに、経営健全化対策出資金及び市バス事業への補助金削減分を財源とした高資本費対策補助金を計画どおり支援。(15,292,652 千円)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度 計画初年度 の前年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 30 年度
		(計画初年度)	(第 2 年度)	(第 3 年度)	(第 4 年度)	(第 10 年度)
当初計画 A		1,728,774	137,596	2,590,235	3,870,569	6,699,503
解消実績額 B		4,554,145	8,582,715	4,034,069	6,002,474	—
現在計画 C		4,554,145	8,582,715	4,034,069	6,002,474	6,699,503
B-A 又は C-A		2,825,371	8,445,119	1,443,834	2,131,905	—
資金不足額	30,981,281	26,427,136	17,844,420	13,810,351	7,807,877	—

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金 不足比率	年度 計画初 年度の 前年度	平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度		平成 30 年度
		(計画初年度)		(第 2 年度)		(第 3 年度)		(第 4 年度)		(第 10 年度)
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	133.5	126.8	114.5	125.7	76.2	114.0	57.8	96.9	31.9	—

佐賀県佐賀市 自動車運送事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 給与支給額の抑制については、当初計画どおり実施（平均3%カット）
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。（150,000千円）

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	最終年度
	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	(第 2 年度)	(第 3 年度)	(第 4 年度)	(平成 25 年度)
当初計画 A		△1,361	151,321	159,736	150,557	141,673
解消実績額 B		43,042	183,103	172,785	132,170	—
現在計画 C		43,042	183,103	172,785	132,170	141,673
B-A 又は C-A		44,403	31,782	13,049	△18,387	0
資金不足額	659,057	616,015	432,912	260,127	127,957	—

備考

- 1 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)		平成 24 年度 (第 4 年度)		最終年度 (平成 25 年度)
		実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	101.0	103.8	95.0	77.6	64.4	51.6	39.3	29.5	19.6	8.5

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 計画内容を市民に広く周知するため、市及び交通局のホームページに経営健全化計画を掲載するとともに、市の広報誌に実施状況の概要を掲載

熊本県熊本市 交通事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ バス事業の移譲
H24年4月に、帯山線、島崎保田窪線、熊本駅県庁線、熊本駅長嶺線を移譲
- ・ 利用促進に向けた取り組み
市立体育館前電停のバリアフリー化工事、花畑町電停～熊本城市役所前電停間における軌道敷緑化工事の実施 など
- ・ 経営の合理化
職員数を204人から168人へ削減、電車惰行運転の励行等による電車電力使用量の削減、デジタルタコグラフの活用による燃費向上 など
- ・ 経営基盤の強化
バス事業の移譲先へバス車両等の売却、上屋付電停への広告枠の増設 など

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成21年度 (計画初年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)
当初計画 A		542,387	652,455	324,332
解消実績額 B		608,409	747,002	717,606
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		66,022	94,547	393,274
資金不足額	5,533,795	4,925,386	4,178,384	3,460,778

年度 区分	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)	平成27年度 (第7年度)
当初計画 A	397,724	925,474	521,972	1,728,973
解消実績額 B	467,599	—	—	—
現在計画 C	467,599	925,474	521,972	1,728,973
B-A 又は C-A	69,875	—	—	—
資金不足額	2,993,179	2,067,705	1,545,733	—

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	198.2	206.2	202.1	182.1	176.0	171.1	153.5

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
	計画値	実績値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	155.8	154.4	111.9	89.4	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・資金不足比率を経営健全化基準未滿とするための各方策について検証・評価を行う検証シートを作成・公表し、経営健全化計画の着実な実施を図った。

北海道美唄市 病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 人件費等の削減については、当初計画どおり実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画より前倒しで実施。(695,683千円)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		12,769	△87,160	54,438
解消実績額 B		37,901	△48,522	260,826
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		25,132	38,638	206,388
資金不足額	1,492,513	1,454,612	1,503,134	1,242,308

年度 区分	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
当初計画 A	145,916	373,920
解消実績額 B	283,658	—
現在計画 C	283,658	373,920
B-A 又は C-A	137,742	0
資金不足額	958,650	—

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：％)

年度 資金 不足比率	計画初 年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	134.0	115.8	113.6	120.1	126.9	115.6	100.8

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 27 年度 (第 7 年度)
	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	104.6	79.1	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 市民に信頼される病院づくりについては、概ね計画どおり実施。
- ・ 経営形態の見直しについては、計画どおり実施。

北海道深川市 病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 人件費等の削減については、概ね当初計画どおり実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。(1,071,298千円)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		△138,000	△2,000	218,000
解消実績額 B		△66,082	218,803	199,222
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		71,918	220,803	△18,778
資金不足額	1,543,168	1,609,250	1,390,447	1,191,225

年度 区分	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
当初計画 A	177,000	203,000
解消実績額 B	243,956	—
現在計画 C	243,956	203,000
B-A 又は C-A	66,956	0
資金不足額	947,269	342,269

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初 年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	41.1	47.9	45.1	46.2	38.9	39.6	32.6

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 27 年度 (第 7 年度)
	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	34.8	25.9	18.5

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 「深川市立病院経営健全化計画外部評価委員会」を設置し、評価結果をホームページで公表。

北海道由仁町 病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 人件費等の削減については、当初計画どおり実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。(272,734千円)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		72,112	77,100	84,100
解消実績額 B		73,683	86,711	76,059
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		1,571	9,611	△8,041
資金不足額	441,461	367,778	281,067	205,008

年度 区分	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
当初計画 A	85,400	73,700
解消実績額 B	103,786	—
現在計画 C	103,786	73,700
B-A 又は C-A	18,386	0
資金不足額	101,222	27,522

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初 年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	135.1	106.9	105.3	84.3	77.0	57.7	53.0

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)
	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	34.1	27.5	13.6

兵庫県三木市 病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1 計画と具体的な措置の状況

1 医師の確保

- ・北播磨総合医療センターの開院（平成 25 年 10 月 1 日）に向け、神戸大学より順次医師の派遣の増員が図られたことにより、平成 25 年 4 月では医師 64 名体制となり、目標の 40 名を大きく上回る体制となった。

2 看護師の確保

- ・平成 25 年 4 月は、看護師の新規採用を行わなかったため 201 名となっており目標値 210 名を下回った
- ・同年 6 月時点では北播磨総合医療センター企業団が採用した看護師 62 名の派遣を受け、263 名となっている。

3 地域連携の強化

- ・平成 24 年 11 月 14 日付で医療法に定める「地域医療支援病院」として県から承認を受けた。

4 人件費の削減

- ・平成 24 年度は、平成 21 年 7 月から実施している医師以外の職種の給与の平均 7%カットを継続して実施した。

5 経費の削減

- ・平成 24 年度は、昨年度に引き続き、各種委託契約等の見直しや材料費の価格交渉を実施した。

6 一般会計からの支援

- ・地方公営企業法に基づく高度医療や救急医療等の不採算経費に関する一般会計からの繰入（計画：毎年 10 億円）を継続するとしている。
- ・平成 24 年度は、昨年度に引き続き、当初計画どおり 10 億円の繰入れを行った。なお、平成 25 年度については経営改善の取り組みにより、繰入額は 5 億円で減額される見込み。

第2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)
	当初計画 A		136,100
解消実績額 B		269,985	△ 136,630
現在計画 C		-	-
B - A 又は C - A		133,885	158,370
資金不足額	1,101,100	831,115	967,745

年度 区分	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)
	当初計画 A	△ 10,000	60,000
解消実績額 B	△ 226,305	△ 46,590	-
現在計画 C	-	△ 46,590	3,049,050
B - A 又は C - A	△ 216,305	106,590	1,889,050
資金不足額	1,194,050	1,240,640	0

第3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	23.6	20.6	17.9	23.7	19.4

年度 資金 不足比率	平成23年度 (第3年度)		平成24年度 (第4年度)		平成25年度 (第5年度)
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	21.7	23.2	20.7	22.9	0

第4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・昨年度に引き続いて、経営健全化推進本部による進行管理を行った。

大阪府大阪市 中央卸売市場事業会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

第1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 収入における方策について
 - (1) 入居促進を実施（新規入居者数 4件）
（収入額） 計画額 131 百万円 → 実績額 132 百万円（1 百万円増）

- ・ 支出における方策について
 - (1) 人員削減
（人員削減）計画値 7人 → 実績値 7人
（人件費） 計画額 939 百万円 → 実績額 834 百万円（105 百万円減）
 - (2) 業務委託化の推進と物件費の増加抑制
（物件費）計画額 2,377 百万円 → 実績額 2,346 百万円（31 百万円減）
 - (3) 投資的経費の見直し
（建設改良費）計画額 341 百万円 → 実績額 309 百万円

- ・ その他の資金収支を改善する方策について
資本費平準化債の発行
計画額 2,412 百万円 → 実績額 2,338 百万円

2 資金不足額解消の状況

（単位：千円）

区分 \ 年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		936,864	1,723,266	1,651,809
解消実績額 B		1,349,452	2,091,196	2,611,340
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		412,588	367,930	959,531
資金不足額	12,658,410	11,308,958	9,217,762	6,606,422

年度 区分	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)	平成 28 年度 (第 8 年度)
当初計画 A	1,235,306	1,526,461	1,511,696	2,202,966	1,939,099
解消実績額 B	1,667,456	—	—	—	—
現在計画 C	1,667,456	1,526,461	1,511,696	2,202,966	1,939,099
B-A 又は C-A	432,150	0	0	0	0
資金不足額	4,938,966	3,412,505	1,900,809	—	—

備考

1 計画初年度から当該年度の前年度（23年度）までは解消実績額を、当該年度（24年度）については解消実績額と現在計画とを、当該年度の翌年度以降（25年度以降）については現在計画による銭安記載している。

2 計画初年度から当該年度（24年度）における「B-A 又は C-A」欄にはB-Aの額を記載している。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初 年度の 前年度 実績値	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	198.7	189.8	178.8	164.4	146.7	137.5	106.3

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)		平成 26 年度 (第 6 年度)		平成 27 年度 (第 7 年度)	
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	116.2	80.9	92.8		68.7		32.0	

年度 資金 不足比率	平成 28 年度 (第 8 年度)	
	計画値	実績値
資金不足比率	—	

第 4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 仲卸業者の経営基盤強化策の実施
中小企業診断士などの専門家派遣相談の継続実施 等
- ・ 市場の情報化への取組み
取引情報電子化に向けて情報の規格化を推進
- ・ 環境対策の推進
太陽光発電設備の維持管理 等

徳島県徳島市 徳島市立食肉センター事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1 計画と具体的な措置の状況

- ・計画の概略は、平成 22 年度から平成 25 年度までの 4 年間で総額 734, 129 千円の累積赤字を一般会計からの繰入によって解消し、資金不足比率を 0 %とするもの。
- ・平成 24 年度は、当初計画どおり一般会計から 183, 533 千円の繰入を実施し、累積赤字の減少を図った。

2 資金不足額解消の状況

（単位：千円）

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		—	183, 533	183, 533
解消実績額 B		—	183, 533	183, 533
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		—	—	—
資金不足額	734, 129	734, 129	550, 596	367, 063

年度 区分	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)
当初計画 A	183, 533	183, 530
解消実績額 B	183, 533	—
現在計画 C	183, 533	183, 530
B-A 又は C-A	—	—
資金不足額	183, 530	—

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	458.0	620.4	655.7	465.3	533.7	310.2	383.3

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)
	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	155.1	190.9	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・国内競争力の強化と海外を含めた販路拡大を図るため、対マカオ輸出と畜場選定の申出を行った。
- ・本市食肉センターの利用料金の確保及び増収に向けて、指定管理者制度を有効に活用し、業界と一体となった取組みを進める。
- ・平成 22 年度に設置した徳島県や指定管理者を構成員とする「徳島市立食肉センター活性化検討協議会」において、当食肉センターの経営基盤の強化や実効性のある活性化策について協議を進めている。

青森県新産業都市建設事業団 桔梗野工業用地造成事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・八戸市からの補助金の繰入れについては、当初計画どおり実施。(80,571千円)
- ・他会計剰余金からの長期借入については、当初計画どおり継続実施。(1,197,000千円)
- ・平成48年度までに軟弱地以外の2区画分譲の当初計画に対し、軟弱地以外1区画等を分譲。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
当初計画 A		527,844	644,853	80,689	80,422
解消実績額 B		527,844	644,929	79,933	111,595
現在計画 C		—	—	—	111,595
B-A 又は C-A		—	76	△756	31,173
資金不足額	3,406,388	2,878,544	2,233,615	2,153,682	2,042,087

年度 区分	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)	平成36年度 (第16年度)	平成42年度 (第22年度)	平成48年度 (第28年度)
当初計画 A	80,437	80,711	80,605	80,715	113,211
解消実績額 B	—	—	—	—	—
現在計画 C	80,437	80,711	80,605	80,715	85,933
B-A 又は C-A	—	—	—	—	△27,278
資金不足額	1,961,650	1,880,939	1,074,464	589,993	99,917

備考 「現在計画C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	453.8	383.5	383.5	297.9	297.8	287.1	287.4

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)
	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	276.4	277.6	265.7	254.9

年度 資金 不足比率	平成 36 年度 (第 16 年度)	平成 42 年度 (第 22 年度)	平成 48 年度 (第 28 年度)
	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	147.2	82.5	15.0

青森県新産業都市建設事業団 百石住宅用地造成事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ おいらせ町からの補助金の繰入れについては、当初計画どおり実施。(100,000千円)
- ・ 2区画分譲の当初計画に対し、3区画を分譲。
- ・ 他会計剰余金からの長期借入については、当初計画どおり継続実施。(643,000千円)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)
当初計画 A		744,760	104,000	104,000
解消実績額 B		731,395	105,934	107,834
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		△13,365	1,934	3,834
資金不足額	1,676,133	944,738	838,804	730,970

年度 区分	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)	平成30年度 (第10年度)
当初計画 A	104,000	104,000	104,000	99,373
解消実績額 B	106,228	—	—	—
現在計画 C	106,228	104,000	104,000	104,742
B-A 又は C-A	2,228	—	—	5,369
資金不足額	624,742	520,742	416,742	—

備考 「現在計画C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	980.9	562.3	563.4	542.0	546.6	493.3	608.5

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 30 年度 (第 10 年度)
	計画値	実績値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	440.4	556.1	382.8	319.8	—

山口県下関市 臨海土地造成事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

平成 24 年度は、計画どおり以下のことを実施した。

- ・あるかぼーと 1 番 33 の造成地 (1,734 m²) について、海響館バス駐車場用地として 1 億 4,457 万 8,442 円で一般会計へ売却した。
- ・あるかぼーと 1 番 30 の造成地 (1,907 m²) について、飲食店を誘致するため公募を実施し、民間事業者を決定した。
- ・あるかぼーと 1 番 40 の造成地 (8,091 m²) について、アミューズメント施設を誘致するため公募を実施し、民間事業者を決定し、事業用定期借地による貸付けを行った。
- ・あるかぼーと 1 番 37、1 番 38 及び 1 番 40 の造成地 (21,549 m²) について、海響館の臨時駐車場として貸付けを行った。
- ・公債費の利子負担を軽減するため、土地開発基金から無利子で資金を借り入れ、起債残高の繰上償還を行った。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 23 年度)	平成 24 年度 (第 2 年度)	平成 32 年度 (第 10 年度)
当初計画 A			△155,432	△1,111,063	270,904
解消実績額 B			96,453	△1,248,435	—
現在計画 C			—	△1,248,435	270,904
B-A 又は C-A			251,885	△137,372	0
資金不足額		1,300,695	1,204,242	2,452,677	527,705

備考

- 1 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金 不足比率	年度	計画初年度 (平成 23 年度)		平成 24 年度 (第 2 年度)		平成 32 年度 (第 10 年度)	
	計画初年度 の前年度	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	
資金不足比率	実績値	25.8	32.4	26.8	60.1	57.8	17.5

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・あるかぼーと 13 番 21 及び 13 番 22 の造成地について、民間事業者による飲食店を誘致するため公募を実施したが、出店応募がなかった。このため、今後、公募条件の見直しを含め、再公募の検討を行う。
- ・ホームページに売却用地の情報を掲載するとともに、企業誘致の観点から部局間で連携し、積極的な販売促進活動を行う。

青森県弘前市 岩木観光施設事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 料金体系の見直しについては、検討の結果、現状維持。
- ・ 入込客数については、豪雪の影響でほぼ横ばい、また、イベント参加者数もニーズに合わせた商品及びサービスの充実底辺拡大イベントの開催を実施した結果、一部のイベント参加者数が増加したことにより、ほぼ前年度並みを確保。
- ・ 利用者数の確保に努めたものの、収入額が計画を若干下回ったため、一般会計からの繰入れを計画より増額して実施。(183,900千円)
- ・ 大規模改修については、経費支出の平準化と軽減を図るため、計画的なメンテナンススケジュールを組んで実施。
- ・ 指定管理内容の検討については、平成22年度から見直しを実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)	平成27年度 (第7年度)
当初計画 A			10,994	9,261	118,379	131,947	130,272
解消実績額 B			6,793	11,443	162,996	131,095	—
現在計画 C			—	11,443	162,996	131,095	103,090
B-A 又は C-A			△4,201	2,182	44,617	△852	△27,182
資金不足額	664,747		657,954	645,511	483,515	352,420	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金 不足比率	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)		平成24年度 (第4年度)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率		1,879.4	1,789.4	2,106.3	1,815.4	1,955.2	1,482.0	1,430.8	1,110.3	1,083.2

資金 不足比率	年度
	平成27年度 (第7年度)
	計画値
資金不足比率	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 弘前市内の4スキー場のあり方等について、庁内関係課による検討会議で方針を決定。

青森県黒石市 温泉供給事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 事務管理委託料の見直しについては、当初計画どおり経費節減を実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。(19,273千円)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)	平成27年度 (第7年度)
当初計画 A			21,065	24,521	23,349	26,118	25,572
解消実績額 B			24,731	26,571	20,983	24,378	—
現在計画 C			24,731	26,571	20,983	24,378	25,572
B-A 又は C-A			3,666	2,050	△2,366	△1,740	0
資金不足額		165,435	140,704	114,133	93,150	68,772	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金 不足比率	年度	計画初年度の 前年度		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)		平成24年度 (第4年度)		
		実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	
資金不足比率		1,417.3	991.7	955.0	815.4	693.6	656.5	585.1	478.8	435.4

資金 不足比率	年度
	平成27年度 (第7年度)
	計画値
資金不足比率	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

温泉使用料を平成25年8月分から値上げ改定することとした。

奈良県宇陀市 保養センター事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・平成 22 年 10 月 1 日より株式会社休暇村サービスによる指定管理による運営管理をおこなっており、同平成 22 年 10 月 1 日より宇陀市保養センター事業特別会計は、宇陀市商工観光課の主管となり、引き続き宇陀市保養センター事業特別会計とその経営健全化計画の管理をしていくことになった。
- ・一般会計からの繰入については、当初どおりに実施した。
- ・資金不足額及び資金不足比率は、前年にくらべて減少はしたが、指定管理者による営業収益の当初計画に比べての減少等の要因により、当初計画どおりの実施には至らなかった。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分 \ 年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		98,216	64,200	△144,581
解消実績額 B		43,911	△6,909	91,870
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		△54,305	△71,109	236,451
資金不足額	1,276,441	1,232,530	1,239,439	1,147,569

区分 \ 年度	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 28 年度 (第 8 年度)	平成 32 年度 (第 12 年度)
当初計画 A	70,480	161,668	147,247
解消実績額 B	80,272	—	—
現在計画 C	80,272	161,668	147,247
B-A 又は C-A	9,792	—	—
資金不足額	1,067,297	676,162	80,123

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	275.1	267.8	291.2	237.0	333.7	251.7	316.1

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 28 年度 (第 8 年度)	平成 32 年度 (第 12 年度)
	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	224.2	287.2	127.6	15.1

山口県美祢市 観光事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・本市独自の15秒のテレビCMを製作し、北部九州及び山口地域への放映を行うなど各種媒体を通じた積極的な広告宣伝、観光キャンペーン等を展開。
- ・山口県・国際観光推進協議会及び台北市と連携し、海外(中国・台湾・韓国)からの観光客の誘致活動を実施。
- ・組織改編により正規職員を8名減とし、委託職員で対応。
- ・トロン温泉について、営業時間を1時間短縮。また、休業日の見直しを実施。
- ・秋吉台家族旅行村と秋吉台リフレッシュパークの一体管理による指定管理者制度の導入。
- ・山口市と観光交流パートナー協定を締結。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)	平成26年度 (第6年度)
当初計画 A			159,138	250,215	264,543	245,284	132,072
解消実績額 B			221,882	184,998	219,420	249,182	-
現在計画 C			-	-	-	249,182	175,770
B-A 又は C-A			62,744	△65,217	△45,123	3,898	43,698
資金不足額		1,312,648	1,090,766	905,768	686,348	437,166	-

備考

- 1 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)		平成24年度 (第4年度)		平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	169.5	141.1	135.2	113.1	128.7	77.8	93.2	49.5	60.5	16.6	-

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・美祢市総合観光振興計画を策定し、振興策と経営健全化について、平成 26 年度までに優先的に実施する重点プロジェクト 9 項目を策定。
- ・養鱒場について、販路拡大及び施設改修等、釣り堀での使用料収入の増加を目指した取組みを実施。
- ・秋芳洞内の照明改修事業（LED化）により施設のイメージアップを図ると共に洞内の照明に係る電気料金を 14%削減。
- ・経営管理能力向上のための職員研修及び来客者の満足度を高める接客研修及び市職員と同等の自己点検・評価を実施。

高知県高知市 国民宿舎運営事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・平成 24 年度の計画では、収益的収入については前年度実績額より 41,683 千円増の 339,510 千円、それに伴う収益的支出については前年度実績額より 13,710 千円減の 314,224 千円と見込んでいたが、平成 24 年度から、国民宿舎の利用に係る料金を指定管理者の収入とし、指定管理者からは納付金として本市に納める利用料金制を導入したことに伴い、収益的収入の実績額は 35,633 千円と計画を下回り、収益的支出の実績額については指定管理料を支払わなくなったため、14,369 千円と計画を下回る結果となった。
- ・計画と比較して、収益的収支については 4,022 千円の減少、資金不足額については 516,429 千円の増加となり、平成 24 年度の資金不足比率については、計画値 225.4%に対し、実績値 457.7%となった。なお、計画値と実績値が大幅に異なった要因としては、平成 24 年度から導入した利用料金制によるものであり、従来の算式によると実績値 266.0%となる。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		△35,907	△97,249	60,060
解消実績額 B		△28,087	△87,944	48,850
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		7,820	9,305	△11,210
資金不足額	765,310	793,397	881,341	832,491

年度 区分	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
当初計画 A	73,620	85,968	△4,469	145,573
解消実績額 B	△454,604	—	—	—
現在計画 C	△454,604	600,375	△4,469	145,573
B-A 又は C-A	△528,224	514,407	0	0
資金不足額	1,287,095	686,720	691,189	545,616

年度 区分	平成 28 年度 (第 8 年度)	平成 29 年度 (第 9 年度)	平成 30 年度 (第 10 年度)	平成 31 年度 (第 11 年度)
当初計画 A	136,497	136,497	136,498	136,497
解消実績額 B	—	—	—	—
現在計画 C	136,497	136,497	136,498	136,497
B-A 又は C-A	0	0	0	0
資金不足額	409,119	272,622	136,124	—

備考

- 1 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	238.0	248.0	240.2	250.5	246.7	247.1	279.7

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
	計画値	実績値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	225.4	457.7	200.1	201.4	158.5

年度 資金 不足比率	平成 28 年度 (第 8 年度)	平成 29 年度 (第 9 年度)	平成 30 年度 (第 10 年度)	平成 31 年度 (第 11 年度)
	計画値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	118.2	78.0	37.7	—

備考

比率が大幅に上昇した要因については、分子である資金不足額から控除される解消可能資金不足額【累積償還差額×(1-一般会計負担割合)】が平成 24 年度からの利用料金制導入に伴う支出額の減少により、大幅に減少したことが要因となっているためである。

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

・平成 22 年度から 15 年間にわたり改築資金の起債元金について一般会計から繰入を行い、資金不足比率の改善を図る。

北海道釧路市 釧路市設魚揚場事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・施設管理費等の削減については、当初計画どおり実施。
- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。(395,666千円)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		287,301	281,218	298,407
解消実績額 B		279,469	271,397	297,423
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		△7,832	△9,821	△984
資金不足額	2,913,900	2,634,431	2,363,034	2,065,611

年度 区分	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 30 年度 (第 10 年度)
当初計画 A	295,466	297,934
解消実績額 B	302,067	—
現在計画 C	302,067	297,934
B-A 又は C-A	6,601	0
資金不足額	1,763,544	—

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初 年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	2,933.9	2,854.7	3,320.5	2,555.4	3,117.3	2,230.2	2,503.2

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 30 年度 (第 10 年度)
	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	1,908.3	2,448.0	—